

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	あこおる		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日 ～ 令和6年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性に特化した支援体制づくり	・指導員は保育士、社会福祉士、教員免許、公認心理師の資格を保有しています。一部の職員は、10年以上障がい児支援に携わっています。 ・質の向上のため、職員研修の機会を月1回以上設け、事例検討等を行っています。また、外部の専門家による年間3回以上のコンサルテーションを実施しています。	・現在意識的にやっている取組みを継続して行います。
2	お子さんの発達や理解の状況に応じたスモールステップでの支援	・お子さんの発達やニーズを把握し、必要に応じて個別療育と小集団療育を組み合わせた支援を行っています。 ・個別支援計画をもとに利用日ごとに支援計画を作成しています。 ・具体的な支援方法や現在の達成度について、担当する職員間で共有し、支援の見直しを行います。	・現在意識的にやっている取組みを継続して行います。
3	家族支援及び関係機関連携	・療育の参観を推奨し、お子さんの特性や支援方法等をその場で共有できるようにしています。 ・保護者からの個別相談に応じる体制を整え、家庭生活の安定及び地域生活を見据えた助言やアドバイスをしています。 ・関係機関や保護者の要望に応じて、関係機関への訪問、見学の受け入れ、会議への参画等で連携を図っています。	・現在意識的にやっている取組みを継続して行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流	・1か月あたりの利用日数が2日から4日の方が多く、利用時間が1時間30分以下のため、地域交流の時間が確保できない。	・お子さんのニーズに合わせて、地域の商業施設を利用する。
2			
3			

事業所名		公表日 令和7年 3月 21日			
事業所名		あこおる			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令に遵守したスペースを確保しています。 ・活動内容やご家族の要望に応じて、スペースを柔軟に確保できるようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令で必要とされる配置数に加えて、保育士を1名及び心理担当職員を1名配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・お子さんが活動に集中しやすいように、一人一人に合わせて、棚や机を配置し、必要に応じてパーテーションや個室を使用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の掃除を徹底しています。 ・お子さんの活動内容に合わせてスペースを柔軟に確保できるようにしています。 ・空調の管理をし、心地よく活動に取り組むことができるように配慮しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・お子さんの状態や要望に応じてスペースを柔軟に確保できるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的な職員会議の中で業務について話し合う機会を設けています。職員全員が参加し、実施しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表によるアンケート調査を実施し、業務改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員向け評価表によるアンケート調査を実施し、業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価は行っておらず、保護者と事業者の二者評価を行っています。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の専門家による年間3回以上のコンサルテーションを実施し、職員全員が受講しています。また、県や市が主催する研修会にも積極的に参加しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・児童発達支援のガイドラインに沿って支援プログラムを作成し、公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・お子さんの状況に合わせて、標準化されたアセスメントの結果を参考にして、個別支援計画を作成しています。標準化されたアセスメントの他にも、随時、支援に必要なアセスメントを行っています。また、医療機関等で行った発達検査等も参考にしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・お子さんに関わる担当職員と児童発達支援管理責任者などで会議を行い、内容を検討しています。 ・モニタリングの際も、担当職員と検討の場を設けています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画の内容について、共通理解するために担当職員と児童発達支援管理責任者などで会議を開催しています。 ・療育ごとに指導計画を作成し、職員間での支援の共通理解を図っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・お子さんの状況に合わせて、標準化されたアセスメントの結果を参考にして、個別支援計画を作成しています。標準化されたアセスメントの他にも、随時、支援に必要なアセスメントを行っています。また、医療機関等で行った発達検査等も参考にしています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にアセスメントを行った上で、お子さんや保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的な職員会議の中で活動内容について話し合う機会を設けています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・お子さんの特性や興味・関心に合わせて、活動内容に変化をもたせる内容にしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別療育においては、同時刻に利用されるお子さんと状況に合わせて、ペアでの活動を組み合わせています。 ・小集団療育においては、適宜個別活動を組み合わせています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・個別療育および小集団療育において、担当職員間で支援開始前に支援の内容や役割分担について確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別療育および小集団療育において、終了後に振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の内容に合わせた様式を使用し、記録を行っています。 ・毎回記録を取り、振り返ることで、支援を見直し改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリングの時期に合わせて、見直しを行っています。また、お子さんやご家族のニーズの優先度の変更に合わせて、適宜モニタリングを行い、見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者、または、担当職員が参画しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・児童発達支援管理責任者、または、担当職員が連携を行っています。関係機関からの要請に応じて、会議等に参画できる体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者を通じて保育園等との情報共有を図っています。また、保護者の要望に応じて、保育所等を訪問し、会議等により情報共有を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行のための資料を作成し、保護者を通じて関係機関へ情報提供を行っています。 ・会議等に参画できる体制を整えています。 ・療育の視察の受け入れ体制を整えています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・今年度は行っていませんが、今後必要に応じて児童発達支援センターとの連携を図ります。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現在ご利用のお子さんは、保育園等と併用利用しているため、事業所として保育園等との交流の機会を設けていません。 ・地域との交流に関しては、現在は行っていませんが、お子さんのニーズに応じて、地域や実情に合わせた支援を提供しています。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・利用時間中に、本人の特性について共通理解を図っています。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・利用時間中に、家庭での対応方法等について、お子さんの状況に合わせてアドバイスをしています。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規程、支援の内容、利用者負担等について、初回面談および契約時に説明しています。また、事業所内に運営規定および重要書類を掲示しています。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・定期的にお子さんや保護者の意向を確認しています。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者に個別支援計画書を提示しながら、内容について説明し、同意を頂いた上で、署名を頂いています。

保護者への説明等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者のニーズに応じて、適宜相談を行っています。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・小集団療育のグループ単位で、職員も間に入りながら、保護者同士の交流と連携を支援しています。 ・利用者全員を対象とする保護者会等については、今後、必要に応じて検討します。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・事業所に受付け、解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えています。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・事業所内にイベントの案内、休業日の連絡等を掲示しています。また、弊社ホームページ、SNS、事業所内掲示板等で活動概要等を発信しています。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・利用者の個人情報を記載した書類は、鍵付き収納棚に保管しています。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さんや保護者の状況に応じて、図や絵等の視覚的な手がかりを用いたり、端的な言葉で伝えたりするなど、分かりやすく伝えています。 ・お子さんの特性に合わせて、絵カードやタブレット機器による表出を保障しています。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・お子さんが通う保育園等の依頼により、活動の様子を公開しています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの内容について、職員研修等により、周知を行っています。 ・各種マニュアルの内容に基づいた訓練を行っています。 ・各種マニュアルを保護者の待機スペース等に置き、自由に閲覧できるようにしています。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画の策定し、年に1回の研修及び訓練を行っています。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に、お子さんの状況について確認しています。また、支援を行う中でも、適宜確認を行っています。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に、食物アレルギーについて確認しています。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、職員研修等により、周知を行っています。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・年に3回の避難訓練を小集団療育利用者等に協力いただき実施しています。 ・実施の様子は事業内に写真等で掲示しています。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例が発生した際には、事例を記録し、職員間で共有しています。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・委員会を設置し、マニュアルを策定し、職員研修を行っています。 ・県が主催する研修にも参加しています。 ・コンサルテーションや職員間での会議等を通して、適切な支援方法やかかわり方について、日々検討しています。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束を必要とする機会はありません。今後、そのような機会があった際は、事業所内で十分に検討し、お子さんや保護者の了解を得た上で、計画に記載します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 あこおる

公表日 令和7年3月21日

利用児童数 21

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0	・特性による行動が見られたときにすぐ対応できる人数でありがたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、発達特性に応じて、情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0	・集中しやすいように棚や机の向きを考えてくださったり、視覚的に分かるよう工夫してくださっています。 ・子ども目線、注目する物が分かりやすい。 ・苦手なことや難しいことに対して、分かりやすいように工夫してくださっていて感謝しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	0	0	0	・近すぎず、遠すぎず適切な距離で、注目しやすい白基調の空間です。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	0	・毎日、問題点に考慮した内容や対策を取って行っている。	
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		
	7	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	0	・子どもの状況や親の意向も丁寧に聞いてくださり、就学を目指すうえで必要な支援を考えて提案してもらえています。	
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	9	利用毎の活動の内容が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	16	2	0	0	・どこが悪いというわけではなく、自分の子どもを見ていると活動ベースで大きくなるまでに良くなるかなど少し思う。 ・全く同じということはないように思います。似たことも多少の変化をつけてくださっています。	
保護者 への 説明等	10	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	・丁寧に書面も用いて説明してくださり安心して通うことができています。	
	11	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	12	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	・園や家庭での様子も話し合えている。 ・毎回お話しできる時間を頂けて相談報告しやすいので助かります。	
	13	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・いつも相談に乗っていただきありがとうございます。 ・困りごとに対してすぐに対応して下さっている。	
	14	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	0	・子どもがやりやすいように個別に支援グッズを作っていただき大変助かっています。ありがとうございます。	
	15	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0		
	16	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	17	定期的にホームページや事業所内掲示板で、活動概要や休業日の連絡等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	4	ホームページを見ていない。 ・ホームページまでチェックしていませんでした。	・計画時の説明に加えて、更新の際に案内をします。
	18	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		

非常時等の対応	19	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	0	・マニュアルの場所を教えてもらっています。	
	20	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	・あこおるの便りで拝見しました。	
	21	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	22	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	4	・利用中に事故等発生したことはなかったです。	
満足度	23	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・のびのびと自己表現できる場になっていると思います。 ・安心できる先生がいる。安心できる証拠かなと思います。	
	24	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	0	・楽しみと言うよりはまだ小さいので保育園を休めるという感覚の方が強いように思います。 ・通所日じゃない日にも「あこおるさん行く!」と言っている。 ・子どもの興味のあることを大切に支援を考えてくださっており、毎回とても楽しみにしています。 ・大好きで楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしています。	
	25	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	・できることが増えてきてうれしいです。 ・すごいろんな面で成長を感じています。ありがとうございます。 ・いつもお世話になりありがとうございます。祖母ですが先生方にいろいろ教えていただき助かっています。今後ともよろしくお願いいたします。	